

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

事業所番号	2770108575
事業所名	グループホームクオレ堺鳳 1階
自己評価作成日	令和 7年 6月 30日
外部評価実施日 (運営推進会議)	令和 7年 10月 7日
外部評価作成日	令和 7年 11月 28日
ホームページ公表日	令和 8年 2月 27日

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の基本理念として「笑顔で自分らしく暮らしていただくための第2のわが家」を掲げている。毎年マンダラートを職員みんなで作成し、評価して実践している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入している。近所の保育園児との交流会や羽衣国際大学のレクリエーション実習の場として受け入れを行っている。地域清掃や防災訓練にも参加し地域の一員として交流は日常的に実践している。年に1度のだんじり祭りは、事業所前が休憩場となっており、ご利用者様それぞれの地区のだんじりが観覧でき地域とつながりながら暮らし続けることができる。	・地域活動の情報交換 ・地域のつながりについて ・地域包括からの情報		・夏祭りの利用者様の参加の様子報告がありました。 ・だんじり祭りの観覧休憩スペースについて打ち合わせを行っている ・地域との連携の重要性と取組状況 ・園児・学生の交流を継続的にこなっている。 ・だんじりや盆踊りなどのイベントだけでなく、日ごろから年末夜警、地域美化清掃、地域消防訓練などを通して地域との交流を大切にされている
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回、地域包括代表者・自治会長・民生委員等に参加頂き運営推進会議を開催。前回の調査委の目標達成計画に上げていたヒヤリハット・事故報告を資料に入れ状況の説明を行っている。運営推進会議の内容を家族様へ郵送している。家族様の参加がほとんどない	・地域との連携の重要性と取組状況 ・地域活動の情報交換 ・地域のつながりについて ・地域包括からの情報		・自治会長、民生委員が参加いただけている ・ヒヤリハット、事故報告もお話の中で上がってきている ・多業種からの広報等を情報共有している ・定期的に運営推進会議を開催。家族様当日欠席者には内容を郵送されて

							いる。 ・園児・学生の交流をおこなっている。 地域との交流を大切にされている
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政書類提出の際に指導を受けたり、施設内で事故が起きた場合は、事故報告書を役所へ持参し担当者と直接提出し状況を説明し指導やアドバイスをもらったり、顔の見える関係性を継続している。西区高齢者見守りネットワーク「ちょこっとネット」へも参加している。見守りネットワークにも参加している。感染対策も保健所への報告を行い、必要に応じて指導をもらっている。	市町村との協力関係や地域との連携体制について		役所担当者と顔の見える関係作りをされており、電話やメールでは伝わりにくい内容の話もでき、信頼協力関係を築いている。また、管理者が定期的に地域のネットワークや交流会にも積極的に参加し、市町村との連携もしっかり図れている
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	株式会社クオレ 身体拘束のマニュアル・委員会指針・事業所の身体拘束適正化のための指針を設置し、職員に徹底している。身体拘束の社内研修、ホーム内勉強会を年2回実施している。3カ月に1回の会議等を実施し、身体拘束をしないケアの実施に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や会議を定期的に行っており、理解に努めている。身体拘束はしていないことや工夫が窺える
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	株式会社クオレ 虐待防止マニュアル・委員会指針・事業所の虐待・マニュアル防止のための指針を設置し、職員に徹底している。虐待防止の研修、ホーム内勉強会を年2回実施している。3カ月に1回の会議等を実施し、虐待防止の実施に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や会議を定期的に行っており、理解や日々の振り返りを行い、職員間で協力しあえるように努めている。職場環境にも気遣っていて、施設全体で取り組みを行っていることがわかる
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で、権利擁護の研修に参加。後見人制度研修についてはオンライン研修へ参加し、伝達研修を行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居のご相談時より、ご家族様より疑問点や不安についての相談をお受けしている。契約時は丁寧に、契約書・重要事項説明書等の内容を説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関前にご意見・ご要望カード・意見箱を設置している。御来所時に職員から入居者様の日ごろの様子をお伝えすると共に、ご要望をお伺いしている。管理者も可能な限り来訪時に挨拶をさせて頂き、コミュニケーションをとるように心掛けている。また、年に2回家族会を実施し、ご意見要望をお伺いし、運営に反映している。家族会へは法人代表、社長、取締役も参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会に法人代表、社長、取締役も参加していることにはおどろいた。施設だけでなく、法人としても家族の意見要望をお伺いして運営に反映していることが窺える。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のユニット会議で職員と話しあった結果を聴取している。またユニットからの意見は、管理とリーダーの会議及び法人代表、社長出席による運営会議の際に、リーダー、副リーダー、管理者より、直接意見として上げ、検討している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度を取り入れ、個々に設定する目標の明確化や実績を把握している。管理者との面談が最低でも1年に2回全スタッフと実施している。有休消化率も良く、定時退社できている。普段より話せる環境作りを努力している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が定着しており、就業環境・職場環境の整備が整っていることがわかる
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内では入職後のトレーナー制による新人職員指導を実施している。法人としては会社主催で各種研修会や事例発表会などの機会を作り参加を促すと共に、必要に応じて外部研修の受講も勧めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの力量を把握しながら、育てる取り組みをしている

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回、西区GHのつどいに参加、また他のGHの運営推進会議に出席する等で意見交換の機会を作っている。また、法人内での合同研修や業務の応援等で交流できており、学びの場にもなっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居相談時より行っている。特に入居直後は、職員が傍に付き添い不安の軽減に努めている。また、職員も共同生活の一員として意識し、第2の家族として関係を築くよう努力している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昔の友人や親せきの面会も受け入れている。家族様との外出や、冠婚葬祭の参列や必要な付き添いケアも行えるよう努めている。以前からの習慣であるお肌のお手入れやお化粧品も途切れないような支援をおこなっている。	友人や親せき、家族との支援や本人の住んでいた地域のイベントや交流の参加		入居しても家族や親せき、友人など交友関係が途切れない対応がされている

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	したいこと、やりたいこと等、色々な角度からのアプローチを行い、ご本人の希望、意向等を引き出すように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回モニタリングを行い、ケアプランの見直しを行っている。状態変化があった時は、その都度プランの変更を行っている。プラン変更時には、主治医に報告して意見を頂いている。6か月ごとの更新の際は、家族様へ来所していただき詳しい内容の説明をして一緒に検討している。	本人の気持ちの聞き取りや家族様との話し合い、医療関係者、その他支援して下さっている関係者との話し合いを密に行い、統一した支援を行えるような話し合いをどのようにおこなっているのか	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	振り返りを活かした介護計画やモニタリング、本人の体調、気持ちの変化に対応したケアプランの変更を行っている。本人の安心した生活が継続できるよう本人、家族、必要な関係者と話し合いを密に行って統一した支援していることが窺える
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、個別の介護記録に記入・ケアプラン実施表の作成と活用により情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録をどのように活かされているということがわかり、記録の大切さを理解できた

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様、ご家族様の意向や希望に添って、提携外の医療機関への定期的な受診に同行や訪問マッサージなど、柔軟な対応を行っている	・柔軟な対応をどのくらい行っているのか ・家族様への理解について		同業との情報交換によるさらなる多機能化 本人の希望の主治医が訪問受診可能など柔軟な対応をされている
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理美容院や病院との連携、地域活動へ参加し、暮らしを楽しむことができるよう支援している。	利用者の希望にどう合わせ、家族との協力関係を行っているのか		地域資源をいかしたレクリエーションの充実化 理美容、病院との連携を大切に、本人の生活を支えている
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携医療機関との連携を密にするとともに、提携外に主治医を持たれている場合は、かかりつけ医を引き続き継続できるよう支援している。ご家族様に緊急搬送先の希望や意向をご入居時に伺っている。特別指示書にて訪問看護との連携も行っている。認知症による行動障害が強く出た方に対しては、専門医への受診や入院により治療が行えるように支援している。			本人が長年通っていたかかりつけ医がそのまま往診をして、最期まで診れる環境を作り、安心安全に適切な医療が受けられることができる。事業所が協力医療機関を1つに固定しておらず、また入居したら主治医変更となることも少なく、本人及び家族等の希望を大切にしていることがわかる
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には医師・看護師・医療相談員と連携を保ち、面会や御家族様とのこまめな連携により、早期に退院ができるように支援している。退院前カンファレンスにも参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院、退院に施設がかかわってくれていることは心強い。どうしていいのかわからず困ることもあるので、退院後も病院から情報を共有連携して、施設でみてくれることはとても有難い。また、必要に応じて施設職員が付き添い、医療連携をおこなったり、家族への橋渡しを行っていることはとても安心できる
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に「看取りの指針」を説明し同意を頂いている。主治医より終末期に入られたことを説明して頂き、その上で、家族様と複数の担当者が支援方針についてよく話し合い、看取りの同意を頂いた上で看取りを行っている。今年は、3名の看取りケアを実施		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設当初から施設で最期を迎えることをされており、家族の不安や心配にも寄り添い、一緒に見守ってくれている姿は感動している。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修において「咄嗟のときの対応」を行っており、職員に受講を勧めている。施設内でも、看護師により定期的な勉強会（夜間咄嗟の時の対応等）を行っている。急変時の搬送先や看取り希望など一覧にして見える化している。			事業所内に看護師が勤務しており、介護職への定期的な育成や状況に応じてその場ですぐに指導や対応が行えている。夜間休日のオンコール対応も行っている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害時マニュアル BCP(自然災害編・感染編)の作成・設置、災害時用の備蓄を用意している。BCP 机上訓練は年 2 回実施し常に見直しを行っていく。災害(台風、大雨、地震など)があった際には、直ぐにマニュアル通りに動けたのか、困ったことなどの話し合いを次へ活かせるよう行っている。今年は、簡易トイレの作り方の訓練を行った	災害対策についての取り組み	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	BCP や机上訓練などを定期的に行い、実際に必要な訓練を行っている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修にて「接遇マナー」を行っており、受けた職員より伝達研修も行っている。新入職研修でも接遇マナーの研修を入れている。利用者様一人ひとりの尊厳やプライドを尊重し、呼びかけや言葉使いのスピードやトーンに職員お互いが意識を持つように努めている。浴室入口には、扉だけでなくカーテンをつるすなど外部からの視線を防ぐ工夫もしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	言葉がけにもこれだけの配慮をしていることに驚いた。また、誤解を招いた説明もすぐに対応しており、迅速な対応配慮が窺える。研修も行っており、振り返りや継続した支援をおこなっている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事や入浴についても、その方のペースで行っている。レクリエーションも個別にて対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行事食やおやつレクで職員と一緒に調理や準備を行っている。日々の中においても出来ること(片づけ・簡単な調理)など共にしている。四季折々のイベント(お花見・土用の丑・流しそ		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	クオレ便りで食事の姿や、一緒に作っている様子を見ていて、利用者の表情が生き生きとしており、十分にできていると窺える。

				うめんなど)も行っており、ご利用者が喜ぶ食べ物の工夫を実践している。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栄養や水分チェック等は、医師・看護師・介護職員が話し合い、個々の入居者様に応じた支援を行っている。3食とも業者の献立とクックチル食材の搬入に依るが、栄養も管理されており、業者は施設の要望をよく聞き入れてくれ好評であり、毎日腸活ゼリーも取り入れている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2週間に1回、歯科衛生士が来訪、1人ひとりの口腔内の状態をチェックして頂いている。その上で、個々の入居者様に合わせた口腔ケアの方法を指導頂き、毎食後の口腔ケアで実践している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科衛生士からの指導を受けながらケアを行っている。また、日々ケアを行っていて、わからないことなどがあると、歯科衛生士へ相談、報告を行い、連携したケアが行える	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の排泄時間を把握して声掛けにてトイレへ誘導。日中はトイレでの排泄に力を入れている。入居者様にあったリハビリパンツや尿取りパットを使用し、不快な思いがないようケアしている。夜間は眠りスキャン利用によるトイレ誘導や長時間安眠が可能なおむつや尿取りハットを使用している。便秘予防は、医師の指示のもとご利用者様の排便習慣を把握し、体操なども取り入れ便秘予防に取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中はできるだけトイレでの排せつを促している。そのため、2人介助で対応していることもあると聞き、個々に応じた対応、支援を行っていると伺える。夜間は、眠りスキャンを利用し、睡眠を妨げず、排泄パターンや覚醒時に誘導や声掛けを行う工夫をされている	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	曜日等で入浴日は決めていない。おおむね週2回のペースで入居者様の希望を尊重し、定期的入浴できるよう、入浴の声かけ実施。入浴拒否される方などは、時間・日にち等を変え、気持ちよく、入浴できるように支援している。毎日、入浴剤を入れ(入浴剤は利用者様と選んでいる)入浴の楽しみを取り入れている。入浴後			

				は好きな飲み物を提供し入浴後の楽しみも取り入れている。1階ユニットには、一般浴と車いすのご利用者様でも入浴できる機械浴を設置している。2階のご利用者様も含めて一般浴層が難しくなっても最期まで入浴できる			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間は、個々の入居者様の希望に合わせており、施設の消灯時間はない。眠りスキャン利用によりトイレ誘導のタイミング、オムツ交換のタイミング、居室訪問や起床介助のタイミングをご利用者様に合わせてケアできるため、安心して眠れるよう支援している。日中も、ご利用者様の状態や疲れを訴えられる入居者様には午睡をすすめている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最新の服薬情報をカルテに挟み、さらに看護師より説明を行う事で、職員全員が個々の入居者様の薬の内容を正しく理解し、多職種での3重の確認を行い服薬支援を行っている。また状態変化を早期発見出来るよう努めている。また、薬剤管理指導のため、週に1回(毎週金曜日)薬剤師が来訪し指導をもらっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬支援に、これだけの確認や連携を行っていることを理解した。充分に行えているのではないと思う
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事作り(皮むき・切るなど)、食器拭き、洗濯干しや洗濯たみを手伝って頂いている。また、ピアノをしていたご利用者様は、電子ピアノでピアノを弾いていただいたり、塗り絵が趣味の利用者様はご自身の塗り絵セットを持ってきてもらい楽しみを継続している。嗜好品も家族様へ依頼し、1人ひとりの楽しみごとの支援を行っている。	一人一人のできることなどの抽出 家族との協力の依頼		レクリエーションの利用者の率先した参加を促している。1人1人のできること、好きなことを把握し、ホームでの生活が楽しいものとなるよう工夫している

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様、1人1人の体力や身体能力、気候に応じて、週に数回、近隣や玄関の花壇前を散歩している。初詣や浜寺公園のバラ園、さかい利晶の杜など少人数での外出も行っている。ただ、暑い日や寒い日が多く、外出できてる時期が少なくなかなか支援できていないのが現状である。家族様は定期的と一緒に出かけられている。家族様付き添いにて自宅へ帰られることもある	気候や感染対策を行いながら、外出の機会をどう増やしているのか		暑さを考慮した安心・安全な外出支援 遠くへの外出は難しい面もあり、庭先で季節のお花を観賞されたり日常の解放感を大切にされている。また家族への協力も行えていて、協力しながら安心して出かける工夫をされている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理はホームではしていない。立て替えにて買い物の楽しみ等を感じてもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の希望があれば、ご家族様へ電話をして話していただいたり、ご本人様の状態に応じて、職員の判断で御家族様との会話の機会を作っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	デイルームを居心地良い空間にするため、季節の花を飾る、なじみのある音楽を流す、定期的に換気する、入居者様みんなで作ったカレンダーの掲示等を行っている。また、中庭や隣接の公園をデイルームから、観賞することで、季節を感じる事ができている。スクリーンやプロジェクターを設置し、大画面で映画鑑賞や体操など楽しめる空間を作っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節がわかるように工夫されており、玄関やお庭も季節のお花できれいにされている。法人全体で、季節に応じた工夫をしっかりとされている
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様の思いを汲み取って、その思いに寄り添って支援できるように努めている。また、ご利用者様が、日常を決定できるような声掛けをする支援に努めている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な情報をもとに定期的なアセスメント、情報共有をしてケアプランを作成し、支援を行っている。ご利用者様のシユミ、嗜好などもできるだけ考慮するよう努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日状態管理表を記入しており、日々の変化の気づきなど医師・看護師・介護職・家族様など多職種で支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が勤務しており、介護職員と常に情報交換を行っている。また、看護師は医師への報告も都度されており、安心した暮らしをおこなえている。生活も、面会時に介護職員がしっかり答えてくれて安心して暮らしていることがわかる
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの体調や要望に応じて居室で読書をされたり、歩行訓練をしたり、TVをみたり、体操やレクをしたりなど、できるだけ自分のペースで第2のわが家で過ごすことができるよう、日々見守りながら生活ができている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族写真や仏壇・馴染みのある家具や使い慣れたものを持ち込み、自分の部屋と認識できるように、安心して暮らせるようにしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇や普段使用していたソファを居室に置き、居室でもくつろいで過ごせる工夫をされている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初詣や外出、お買い物、地域の盆踊り、地藏盆、だんじり祭りなど1人ひとりにお声掛けし、ご利用者様の意向や希望によって参加不参加を決めていただき、参加することができる。友人とランチに行ったりと自分の意向、希望によって外出されている	本人の意向と家族との協力体制		準備段階からの利用者の参加催事になるだけ多くの方が参加できるようにされている。参加・不参加は本人の意志を大切にしている。また、友人とお出かけの際には、家族様にも連絡を行い、家族や事業所がいつでも迎えに行ける体制を作り、安心してお出かけができるように工夫されている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる・できない・段取りがわからないことなど、ご利用者様の残存機能を理解し、活かせる工夫を行っている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各フロアには、ソファや椅子があり、それぞれにお話ししやすいご利用者様と会話したり、時には笑いあったり、助け合って生活ができている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	クオレ便りをみていると、くつろいで談話している様子や、季節に応じたイベント、家事などを一緒に行っている様子が窺える。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段はなかなかできていない。盆踊りへの参加時や年に1度のだんじり祭りで、事業所前が休憩場となっているため、馴染みの人と交流することはできている。	ご本人様の近隣や地域の人々との交流はどのようにしているのか		催事参加での人々との交流 だんじり休憩所を提供されている。なかなか訪ねて来られない地域の方々との自然な交流をされている 友人と自由に電話してお話したり、お出かけする約束をしたりと入居しても交流を継続できる環境を作っている
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一番は自宅がいいため、帰りたい気持ち強い時や、共同生活の場で要望通りいかない不満も抱えながらではあるが、健康面、安全面、安心面、環境面では、第2のわが家としてよりよい生活ができていると考える。	「第2のわが家」として安心、安全な暮らしの提供	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護度を感じさせない活力ある生活ができている 健康面、安全面でサポートされている。職員全員が「第2のわが家」として安心、安全な暮らしの提供を意識しており、本人の意志も尊重しながら共同生活のバランスを崩さずサービスを提供している。